

日立労働基準監督署が 全国安全週間に合わせて建設現場の安全パトロールを実施しました

令和8年7月1日

日立労働基準監督署（署長 大久保一樹）は、令和8年7月1日、全国安全週間（7月1日から7月7日まで）の実施に合わせ、日立市大久保町内において株木・オカベ・秋山特定建設工事共同企業体が施工するトンネルの建設工事現場に対し、パトロールを実施しました。



↑ 竹本所長から工事現場の説明を受ける大久保署長 ↓

当署管内では、令和8年に入り、土木工事における労働災害が多発しています。

本パトロールでは、当署管内で工事用車両に関係する事故が発生したことを踏まえ、建設重機と作業者との接触防止措置や、工事車両と作業者の通路の分離状況等について確認しました。

また、本工事の施工方法や、トンネル坑内で作業を行う作業者の把握方法等について説明を受けるとともに、建設中のトンネルに接続する道路改良工事の状況についても確認し、関係者に対して事故防止の徹底を呼びかけました。



関係事業者の皆様には、職場における安全管理を徹底し、労働災害防止に向けた取組を一層推進していただくようお願いします。